

2017年7月21日

株式会社インプレスR&D

<http://nextpublishing.jp/>

憧れのプログラミングが必ずわかる。教材にもおすすめ。

## 『プログラミングの基本が JavaScript で学べる本』発行

「入門の入門」から始めてみよう！

インプレスグループで電子出版事業を手がける株式会社インプレス R&D は、『プログラミングの基本が JavaScript で学べる本』(著者:佐藤 信正)を発行いたします。

### 『プログラミングの基本がJavaScriptで学べる本』

<http://nextpublishing.jp/isbn/9784844397847>



著者:佐藤 信正

小売希望価格:電子書籍版 900円(税別)/印刷書籍版 1500円(税別)

電子書籍版フォーマット:EPUB3/Kindle Format8

印刷書籍版仕様:A5判/モノクロ/本文134ページ

ISBN:978-4-8443-9784-7

発行:インプレス R&D

#### <<発行主旨・内容紹介>>

これから何らかのプログラミング言語を勉強しようと思っているが、どうも敷居が高いのでは…と躊躇している方、あるいは、一度はプログラミング言語を覚えようとトライしてみたものの、途中で挫折してしまった方…、そんな方はおられないでしょうか。

本書は、解説の事例の言語として JavaScript を使用しているものの、特定のプログラミング言語をマスターするための解説書ではありません。「何らかのプログラミング言語を学ぶ前に知っておきたい知識を提供」しています。

まずは、「プログラムとは、いったい何なのか?」といった、まさしく初歩的な疑問にお答えします。また、プログラムを組むためにしておくべきツールを紹介します。そして、たった1行の事例プログラムから始めて、順次、注意事項を交えながら、プログラミングの基礎となる「変数」「計算」「条件の判断」「処理の繰り返し」「関数の定義」など、必須項目をやさしく解説していきます。

どの内容も、あらゆるプログラミング言語を学ぶ際に避けては通れない「基本」です。本書を土台として、次は自分が学びたい特定言語にトライしていただきたいと思います。

(本書は、次世代出版メソッド「NextPublishing」を使用し、出版されています。)

## 最初は、たった1行のプログラムから作ってみる

### 第2日 プログラミングを始めよう

プログラミングの入門として本書が、JavaScriptを取り上げた理由の1つは、簡単に扱えることでした。その一番特徴的な例として挙げられるのは、JavaScriptならたった1行でもプログラムができることです。本当に、たった1行でよいのです。ということなので、さっそくプログラムを1行書いて、実行してみましょう。さあ、プログラミング体験の始まりです。

#### 2.1 プログラムを1行書きましょう

いよいよ、プログラムを作成します。といっても、次の1行だけです。「えっ、たったこれだけ」と拍子抜けした人もいられるかもしれません。そうです。これだけでも、きちんとしたJavaScriptプログラムなのです。

```
alert("Hello world !");
```

図2-1のようにメモ帳を開き、この1行を書き込んでください。

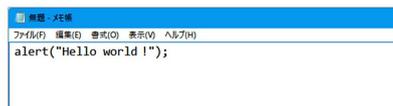


図2-1 メモ帳に1行のプログラムを書き込む

できましたか。  
ここで、JavaScriptプログラムの書き方について、少し解説しましょう。

#### JavaScriptの構文を覚えよう

JavaScriptでは、プログラムは通常英文で書きます。日本語の全角文字は使いません。特に、カッコ記号には、英文の( )記号と、日本語の( )記号がありますが、プログラミングでは、かならず英文の( )記号を使ってください。

さらに大切なこととして、プログラムを書くときには、スペリングにミスがないようにしてください。alertは、alartではありません。つい、耳に残るローマ字発音で書いてしまうことがあります。注意深く、1文字ずつ見直し、間違いないようにしましょう。

でも仮に、スペリングを間違えたらどうなるのでしょうか？

安心してください。爆発はしません。パソコンも壊れません。ただし、プログラムは、動作しません。なにも表示されません。少しくらい間違っただけでも大丈夫だろうという思いは、コンピューターには通じません。プログラミングでは許されないことなのです。ここが、プログラミングのやっかいなところです。

#### じっくり見直しをしよう

プログラムはちょっとしたミスでも動いてくれません。じっくり見直しましょう。

さあ、目をこらして、カッコとクォーテーション・マーク、そして最後のセミコロン (;) も英文の記号を使って正確に入力されているか確認してください。JavaScriptの1行の最後はかならずセミコロンになります。大丈夫ですか。

ずいぶん厳しくいいましたが、例外もあります。クォーテーション・マークで囲んだ「Hello world !」のスペリングについては間違っても

## 各章の終わりには「まとめ」があるので、そこで学んだことの整理に便利

### 3.5 入力促すメッセージを表示

単純といえば単純ですが、人間に応答するプログラムができると、うれいものです。でも、なにかもの足りない感じがします。

プログラムを実行して文字を入力するための空欄が表示されたとき、ただ空欄が表示されるというだけでは、入力促す力が少し足りない感じがします。ここは、改良しておきたいものです。せめて、「お名前をどうぞ。」とか、入力促すメッセージがあったほうが良いはずですよ。

入力促すメッセージは、prompt( )の括弧の中にクォーテーション・マークで指定できます。次のような感じですよ。

```
myMessage = prompt("お名前をどうぞ。");
```

これをプログラムとしてまとめてみましょう。いつも通りの手順です。プログラムファイルは、次のようになります (message5.html)。

message5.html

```
<script>  
myMessage = prompt("お名前をどうぞ。");  
alert(myMessage + "さん、こんにちは!");  
</script>
```

ブラウザで実行してみます。指定した通り「お名前をどうぞ。」と表示されます (図3-7)。これなら、操作者にも入力促していることがすぐ伝わり、さっきのプログラムより親切になっています。

メッセージにしたがって名前を入力すると、以前のプログラムと同様に、入力した名前を含んだあいさつが表示されます (図3-8)。

うまくいきましたか。

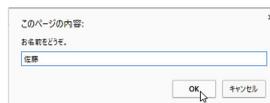


図3-7 今度は「お名前をどうぞ。」と入力促される



図3-8 入力した名前に応答してメッセージが表示される

### 3.6 まとめ

この章では、変数について簡単な実例から学びました。

変数というのは、データに付いた名札のことです。

名札を付ける操作を「代入」といいます。代入はイコールの記号 (=) で指定できます。

また、変数については、データを入れるための入れ物や箱だと考えると、変数にデータを入れる「代入」が理解しやすくなることも紹介しました。

プログラムの実例からは、文字列の連結と prompt( )を使った入力の仕組みも学びました。

操作者が名前を入力すると、プログラムがその名前でも簡単なあいさつで応えてくれました。ごく単純で、初歩的ではありますが、プログラムによって、コンピューターと人間の対話ができたとはいえます。

## <<目次>>

はじめに

第1日 プログラミングを始める前に

1.1 プログラミングとは、プログラムを作ること／1.2 プログラムはプログラミング言語で書く ほか

第2日 プログラミングを始めよう

2.1 プログラムを1行書きましょう／2.2 プログラムであることを指定する ほか

第3日 変数について知ろう

3.1 変数はデータの名札／3.2 プログラムに変数を使う ほか

第4日 計算をしてみよう

4.1 プログラムに計算させてみよう／4.2 計算プログラムを組み立てよう ほか

第5日 条件を判断する

5.1 プログラムに判断させる／5.2 条件判断の動作を指定する ほか

第6日 処理を繰り返す

6.1 プログラムの構造／6.2 プログラムの3構造 ほか

第7日 関数を定義する

7.1 関数の考え方／7.2 関数の定義方法 ほか

総集編 基本の基本でも、プログラムは作れる！

## <<著者紹介>>

佐藤 信正(さとう のぶまさ)

1957年、東京生まれ。国際基督教大学卒業後、同大学院に進む。専攻は言語学。テクニカルライターおよび技術英語翻訳者としてICT(情報通信技術)の各分野を扱ってきた。

主な著書として、『クラウド技術とリッチクライアント/HTML5の常識—小さな会社のIT担当者が知らないと困る』(ソシム)、『ブラウザのしくみ』(技術評論社)、『JavaScript 完全マスター 再入門編—基礎を極めるディープな知識から正規表現処理まで』(メディア・テック)、『はじめて作る人のための iPhone ウェブ・アプリケーション for Windows7/Vista XP 対応』(ラトルズ)などがある。

## <<販売ストア>>

電子書籍:

Amazon Kindle ストア、楽天 kobo イーブックストア、Apple iBookstore、紀伊國屋書店 Kinoppy、Google Play Store、honto 電子書籍ストア、Sony Reader Store、BookLive!、BOOK☆WALKER

印刷書籍:

Amazon.co.jp、三省堂書店オンデマンド、honto ネットストア、楽天ブックス

※ 各ストアでの販売は準備が整いしだい開始されます。

※ 全国の一般書店からもご注文いただけます。

【株式会社インプレス R&D】 <http://nextpublishing.jp/>

株式会社インプレス R&D (本社：東京都千代田区、代表取締役社長：井芹昌信) は、デジタルファーストの次世代型電子出版プラットフォーム「NextPublishing」を運営する企業です。また自らも、NextPublishing を使った「インターネット白書」の出版など IT 関連メディア事業を展開しています。

※NextPublishing は、インプレス R&D が開発した電子出版プラットフォーム(またはメソッド)の名称です。電子書籍と印刷書籍の同時制作、プリント・オンデマンド(POD)による品切れ解消などの伝統的出版の課題を解決しています。これにより、伝統的出版では経済的に困難な多品種少部数の出版を可能にし、優秀な個人や組織が持つ多様な知識の流通を目指しています。

【インプレスグループ】 <http://www.impressholdings.com/>



株式会社インプレスホールディングス(本社:東京都千代田区、代表取締役:唐島夏生、証券コード:東証1部9479)を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「モバイルサービス」を主要テーマに専門性の高いコンテンツ+サービスを提供するメディア事業を展開しています。2017年4月1日に創設25周年を迎えました。

【お問い合わせ先】

株式会社インプレス R&D NextPublishing センター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-105

TEL 03-6837-4820

電子メール: [np-info@impress.co.jp](mailto:np-info@impress.co.jp)